

清央小だより



令和7年度 第8号

2025. 5. 30

HPURL: <http://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

教育目標

「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」

- ・自ら学び工夫する子ども (考 える)
- ・元気でがんばる子ども (鍛 える)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

※ ホームページに掲載する際は、画像を一部加工することがあります。

「いってきます」と「いってらっしゃい」

我が国では、家から出かけるときに「いってきます」、「いってらっしゃい」と声を掛け合うのが一般的です。この言葉の意味をご存知でしょうか。わりと聞く話なので、御存知の方も多いと思います。

「いってきます」は「行って・来ます」なので、「行く」と「来る」という反対の行動である二つの言葉が合わさった言葉です。同じく「いってらっしゃい」は、「行って・らっしゃい」ですが、「らっしゃい」は「いらっしゃい」ということなので、「行って・いらっしゃい」となります。これも、「行く」と「いらっしゃい」という、反対の行動である言葉同士が合わさった、ちょっと不自然な言葉です。

これらの挨拶には、それぞれの言葉の間に「無事に帰って」という言葉が隠れていて、「行って来ます」は「行って無事に帰って来ます」、「行って(い) らっしゃい」は「行って無事に帰って(い) らっしゃい」という意味が込められているのだそうです。

最近、登下校の列に車が突っ込む事故や事件が相次ぎました。このような事故が起こる度に思い出す事故があります。まだ東日本大震災の余韻が残る 2011 年(平成 23 年) 4 月に、本県鹿沼市で起きた、クレーン車が登校する児童の列に突っ込み 6 人の命が奪われた事故です。

この事故があったとき、私は県の教育委員会にいました。朝、職場に着いて間もなく、課長に入った一本の電話で職場内に緊張が走りました。ちょうど事故のあった道路を毎日通って通勤していた同僚がいて、現場付近を通った少し後に事故が起こっていたことを知り、ついさっき見た子供たちの中に犠牲になった子供がいたのでないかと、取り乱していたのを鮮明に覚えています。

「いってらっしゃい」と送り出した我が子が、無事でなく、無言のまま帰ってくるということを想像しただけでも、胸が張り裂けそうで、とても辛く痛ましい事故でした。

改めて、「いってきます」、「いってらっしゃい」という当たり前の挨拶が交わせることのありがたみを感じながら、ご家庭でも毎朝挨拶していただけたら嬉しいです。



雨の日のお願い

今後梅雨に入っていきます。雨が降っているときは、「靴下の替え」「タオル」を持たせていただけるよう、お願いします。先日のような強い雨ですと、靴下はほぼアウトです。長靴をひっくり返したら、中から水がこぼれ出てきたお子様もいます。

靴下やタオルをジッパー付きポリパックに入れて常備させておくことをお勧めします。濡れた靴下やタオルを入れても、ジッパーを留めれば、他が濡れる心配がありません。(防水性の巾着袋でもよいと思います。)

どうぞ、よろしくお願いいたします。



サツマイモづくりが始まります

今年もサツマイモづくりが始まります。今月半ば、通称「芋レンジャー」の地域の皆様が畝(うね)立てをしてくださり、先週 2 3 日の金曜日に、5・6 年生が農園にマルチ張りをしました。

週明けの月曜日には、サツマイモの苗植えを全学年で行います。

学校にお越しの際は、お子様と一緒にサツマイモの成長を見守っていただけると嬉しいです。



※その他の学校の様子はホームページでも掲載しています。

(文責・写真: 校長)